

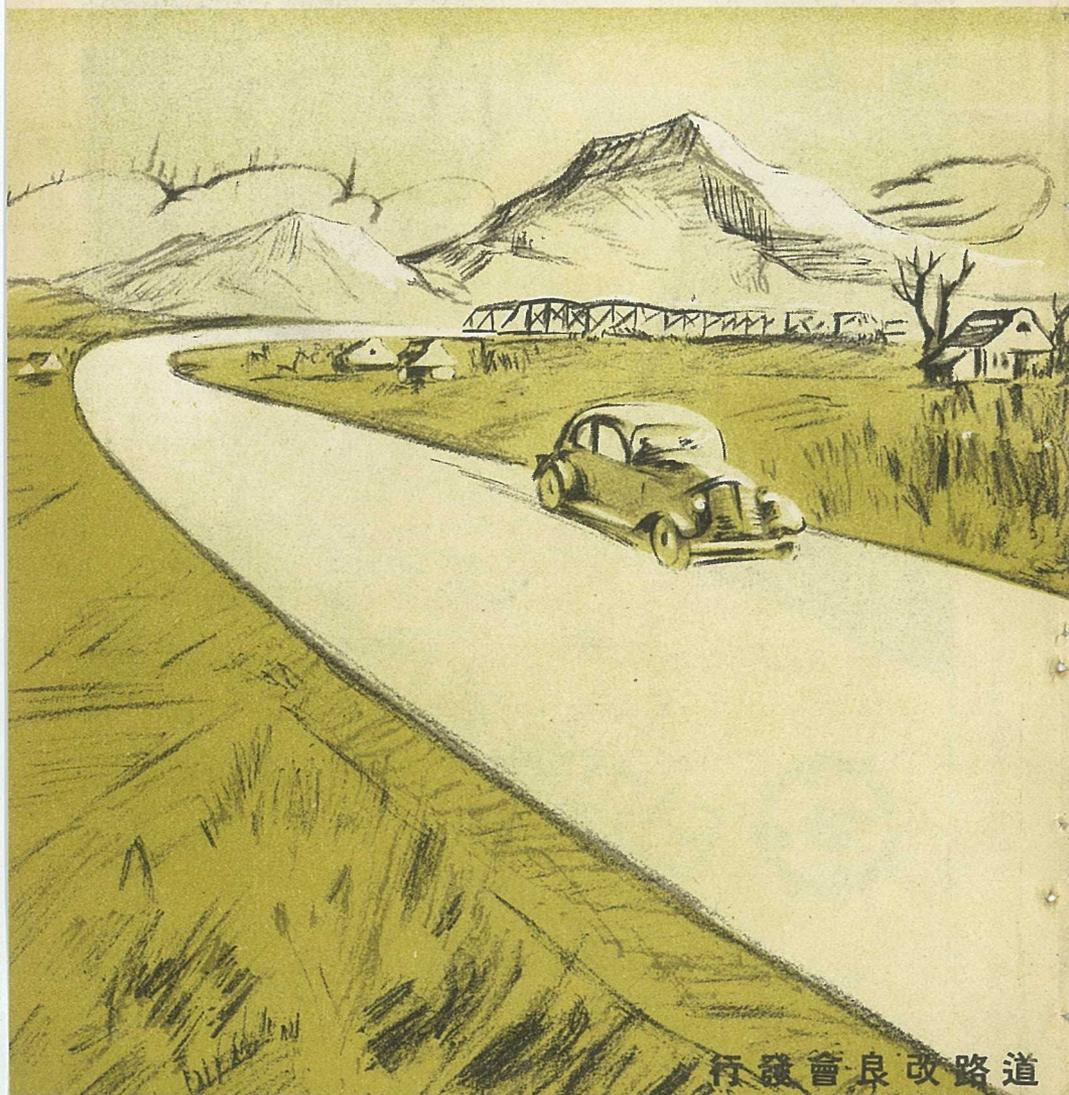
道路の改良

十一年九月二十五日印刷納本
十一年十月一日(毎月一回)日發行

禁轉載

第十號

第八十卷



道路改良會發行

鋪裝なら何んでも……



日本鋪道株式會社

東京・丸之内
大阪・名古屋・京都・福岡・台北・新京

專 賣 特 許

瀝青乳劑
製造各種鋪工
及賣鋪工裝事
負請事工裝鋪
賣販料材事工

特許瀝青乳劑

「エマルビア」

品目

- ◇透入用 瀝青乳劑「エマルビア」
- ◇不凍性 瀝青乳劑「エマルビア」
- ◇急硬性 瀝青乳劑「エマルビア」
- ◇濃厚 瀝青乳劑「エマルビア」
- ◇混合用 瀝青乳劑「エマルビア」

東 京 瀝 青 乳 劑 工 業 所

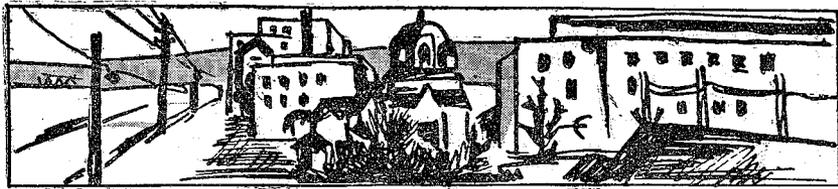
東京市京橋區銀座西三丁目一番地 電話 京橋 一三二五番

大 阪 出 張 所

大阪市北區小松原町一五番 電話(北) 〇、五五三番

仙 臺 出 張 所

仙臺市東七番丁四五番 電話 仙臺 三、二二六番



道路の改良 第十八卷 第十號目次 昭和十一年十月一日發行

口 齋 永久橋 (茨城縣)

卷 頭 言 (二)

論 說

國産自動車の將來に就て 早稻田大學教授 島田孝一 (三)

研 究

都市町農村の道路政策 (二) 地方技師 藤田宗光 (二)

公益企業評價論 (一) 内務事務官 武若時一郎 (三)

技 術

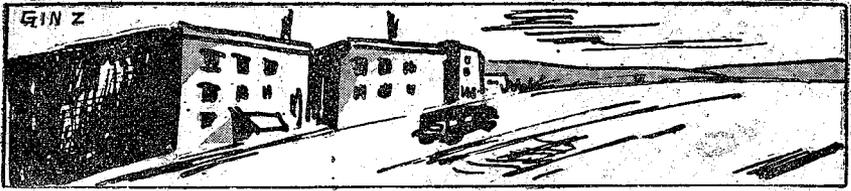
米國道路局で行つたコンクリート 九州帝國大學助 久野重一郎 (三)

鋪裝試驗方法 教授 工學博士 青木楠男 (四)

獨逸熔接鉄桁道路橋假規格 内務技師 島田八郎 (六)

土木工學に於けるX線の應用 (二) 内務技師 西川榮三 (六)

土木工學用塗料の話 (十二) 内務技師 西川榮三 (六)



說苑

今の黄金道路と昔の様似山道 大瀧白櫻(二)

判例警見 田口二郎(一〇)

道路改良の経済的效果に就て(二) 守屋秋太郎(三)

三重縣矢ノ川峠の開鑿成る J T 生(二六)

地方通信

東北・關東・北陸・東山・東海・近畿・中國・四國・九州の各地方 (二三)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例 M M 生(二四)

路政春秋

道路の父を偲ぶ會の催 其他 (二五)

雜報

◎實話、標語應募數◎第七調査委員會◎紺綬褒章節版下賜 (二五)

叙任辭令 (二六)

編輯室の内外 (二六)

附錄指定府縣道並指定地方費道一覽(一)

優 良 國 産



製 品 / 選 擇 ハ 先 ツ 原 料 /
選 擇 カ ラ 、 瀝 青 乳 剤 /
良 否 ハ 原 料 ア ス フ ァ ル ト
ノ 選 定 カ ラ

選 擇 カ ラ 選 定 カ ラ 選 擇 カ ラ 選 定 カ ラ 選 擇 カ ラ 選 定 カ ラ 選 擇 カ ラ 選 定 カ ラ 選 擇 カ ラ 選 定 カ ラ

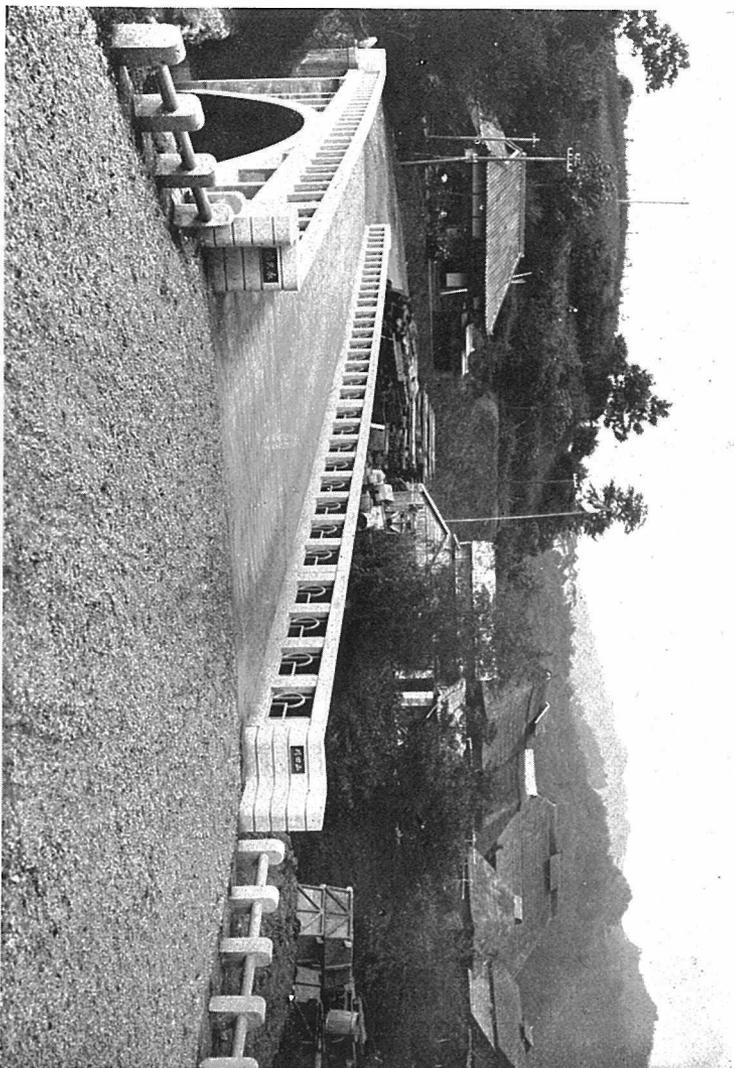
瀝 青 乳 剤
標 共 一 大 協 業 乳 剤 部
瀝 青 乳 剤

瀝 青 部 一 手 販 賣 ア ス フ ァ ル ト 日 本 石 油

部 瀝 青 社 會 株 式 物 産 野 淺

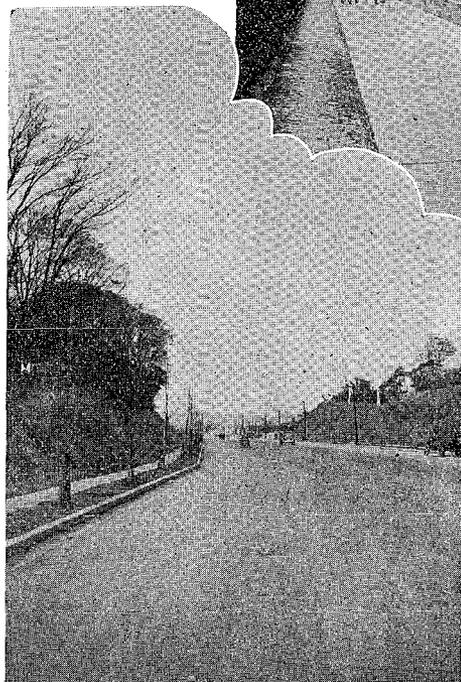
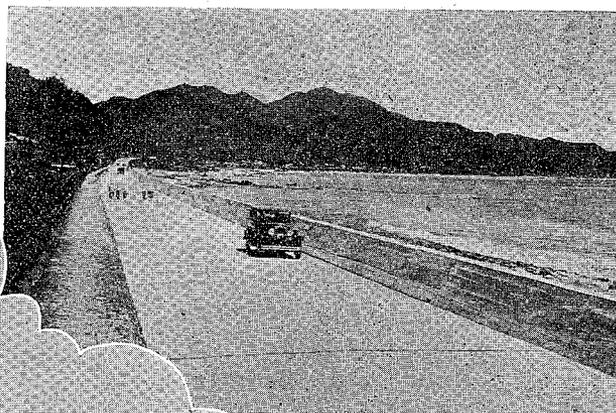
丸 一 内 海 上 ビ ル (電 話 丸 一 内 2581-2589) 東 京

(縣 城 茨) 橋 久 永



名橋 永久橋 (橋架川田山) 置位 長橋 (側開橋) 欄高 面橋 筋鐵 米〇・一
 筋鐵式 鈎無 種橋 會入村野下天、田和染郡 幾久線 田大子 大遺 縣府 米四・〇四
 厚頂拱 米〇・五 矢拱 米〇・五 員幅 效有 米四・〇四 欄高 面橋 筋鐵 米〇・一
 二長 延路 道付取 (附子格物鑄) 造 トーリクソコ 筋鐵 米〇・一
 料材 期工 管直 事工 費路 道 圓〇〇三、一 費梁 橋內 圓九、九、三四一
 工起 圓九九〇、三 八〇〇二、四 員人 用使 冠八七七、七二 筋鐵 米
 八十二 月二十 年十 和明 日十二 月八年 一十 和昭 功竣 日

静岡縣由比國道
→
ベロセメント使用



↑ 大宮街道志村附近
淺野セメント使用

早 強
アサノ
ベロセメント

強度 高ク
硬リ 早ク
使テ 經濟

— 説明書御申込次第送呈 —

淺野セメント株式會社

東京市 丸ノ内 海上ビル



エムラス乳剤販賣

道路舗装並一般土木互業

新乳剤“エムラス”発売

滿洲地方の極寒地にて實地施工の結果從來の瀝青又は瀝青乳劑の
一大缺點たる耐寒性を完全に補充し溫度に對する抵抗性を増大せ
る寒國向の理想的新乳劑なり。

エムラス道路舗装互業株式會社

本社 東京市向島區吾嬬町西四ノ二四
電話・墨田(七四)二六三七

工場 東京市(滿洲國)新京市、ハルビン市
(朝鮮)群山、春川(北海道)札幌市(九州)
佐賀市、大分市(東北)弘前市(關西)大阪市
新京市・ハルビン市・群山府・札幌市・佐賀市
出張所 大阪市

最新刊 前内務技監 工學博士 川中 吉造 先生 監修 大評好 纂編會纂編 クップトックポ 學工木土

土木工學ポック

！よ見を觀壯の書本る成に作著合綜の名一十七家大の道斯

我土木界待望久しき本邦未曾有の快著
土木工學百科辭典とも云ふべき大豪華版！！

土木工學ポックが我土木界に要望せられてゐたのは實に久しい事であり、殊に他の機械學界、電氣學界、建築學界等には既にそれのポックを有するも獨り我土木學界にのみ之を有せざるは甚だ遺憾とする處であつた。そこで本書はこの要望に應ずべく、昭和五年東京帝大内務鐵道兩省等に於ける七十一名の専門大家諸士が一團となりて土木工學ポックトック編纂會を組織し、爾來各同志が誠心誠意各々その専攻せる科目を擔當して綜合著述の實を擧げ萬難を排して茲にこの刊行を見るに至つた次第である。而して本書の内容は土木工學の全般に亘る左記三十七科目の一大集成であつて、斯くの如き豐富なる内容を有する文獻は歐米諸國にも未だ曾てその例を見ざる處である。

本書は眞に我土木業界必須缺くべからざる寶典にして、前途多事なる我土木界に、又滿洲國等の開發に貢獻する處極めて大なるものがあるを確信する。敢て之を官衙・公署・學校・圖書館・工場・會社・技術家及びその他あらゆる土木鐵道關係者に推奨す。

内容の書本るた々堂

- | | |
|------------|----------------|
| 第1編 數學 | 第20編 道路 |
| 第2編 應用力學 | 第21編 鐵路橋 |
| 第3編 物理學 | 第22編 鋼橋の工作架設 |
| 第4編 水文學 | 第23編 軌道及無軌條式電車 |
| 第5編 土木地質 | 第24編 鐵道線路建設 |
| 第6編 測量 | 第25編 鐵道橋 |
| 第7編 土木材料 | 第26編 鐵道隧道 |
| 第8編 コンクリート | 第27編 鐵道保線 |
| 第9編 土工及石工 | 第28編 鐵道停車場 |
| 第10編 基礎 | 第29編 鐵道運送及供養 |
| 第11編 土版及擁壁 | 第30編 裝設並に車輛 |
| 第12編 架梁 | 第31編 高差鐵道 |
| 第13編 耐震構造 | 第32編 登山鐵道及索道 |
| 第14編 河川 | 第33編 航空港 |
| 第15編 砂防 | 第34編 都市計畫 |
| 第16編 發電水力 | 第35編 建築構造 |
| 第17編 港灣 | 第36編 土木機械 |
| 第18編 上下水 | 第37編 土木行政 |
| | 工事執行方法 |

★圓六拾金 價特大★
(日末月二十年一十和昭切緒)

- 一、定價 金貳拾圓
- (送料内地四拾五錢・其他七拾五錢)
- 一、卷數 上下二卷(分裝七)
- 一、頁數 特殊判約四千頁
- 一、挿圖 四千五百餘個
- 一、裝幀 最上總半革洋裝
- 一、製本 天金・背平金文字
- 一、印刷 壓年・優雅
- 一、用紙 六號六ホ流字高版印刷
- 特製最上印刷紙

的仕奉
大特價提供

官衙・公署・學校・工場・會社・技術家及び
その他土木・鐵道關係者必備不朽の大寶典！！

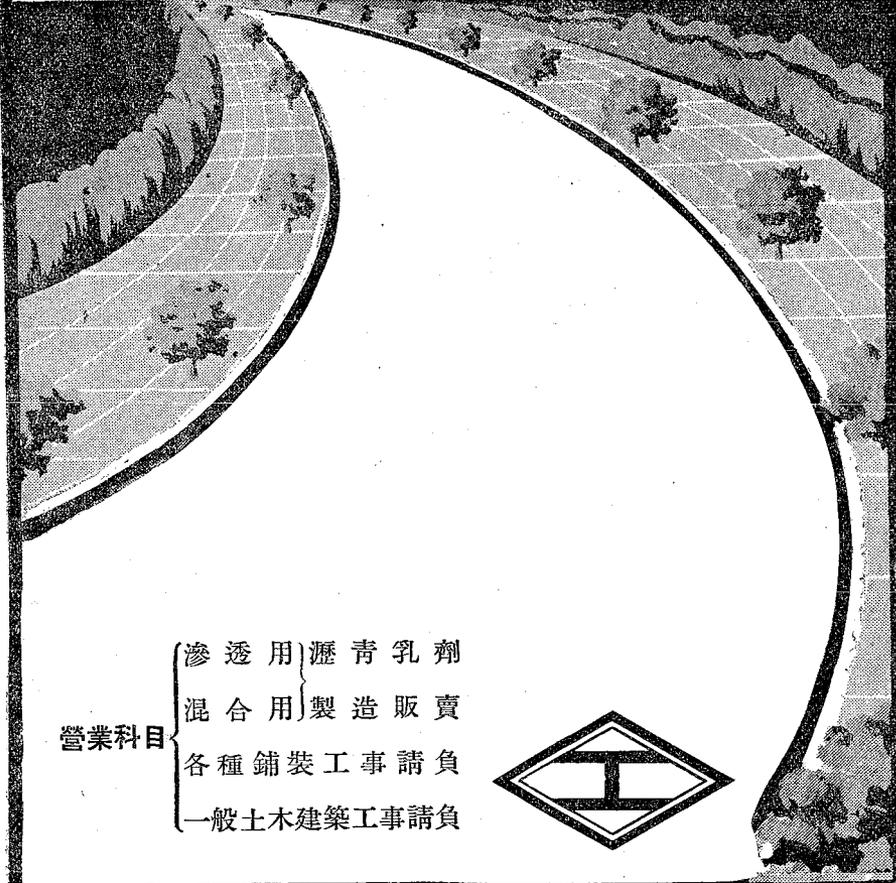
部版出堂海山

目丁二町保神區田神市京東
番一九六一二京東座口替振

(皇進本見容内 麗佳な)

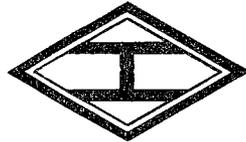
道 路 鋪 裝

(カ タ ロ ク 贈 呈)



營業科目

{ 滲透用 } 瀝青乳劑
 { 混合用 } 製造販賣
 各種鋪裝工事請負
 一般土木建築工事請負

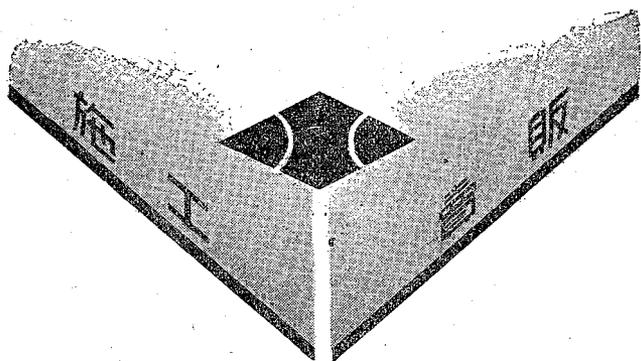


東邦工業合資會社

本社 { 東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三
電話 青山 四九七三・八一四八

工場 { 神奈川縣川崎市幸町三ノ六一二
福岡縣小倉市富野町下道田一四一三ノ二

營業所 { 名古屋市・京都市・大阪市
岡山市・廣島市・小倉市・熊本市



プロ-ソアスファルト
 ストレ-アスファルト
 ウォ-ター-アスファルト

小倉石油株式会社
 専属販売店

南部商會

本 店	東 京 丸ノ内三菱六號館
	電話丸ノ内 1654 5014
出張所	大 阪 西區土佐堀大同生命ビル
	電話土佐堀 3118 4343
	名古屋 中區矢場町五ノ切東陽ビル
	電 話 中 2 7 8 5



東京市橋本区精舎二丁目一番地

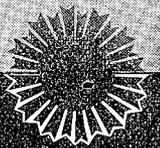
東京市橋本区精舎二丁目一番地

東京市橋本区精舎二丁目一番地

東京市橋本区精舎二丁目一番地

都市工業株式会社

東京市橋本区精舎二丁目一番地
電話 56-288

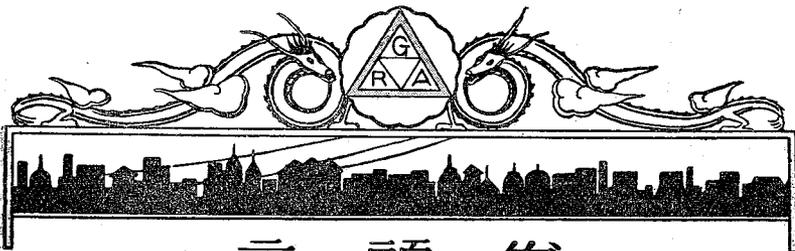


昭和十一年

道路の改良

十月一日

第十八卷
第十號



卷頭言

二千五百九十五、六年には大危険が我國に到來するものゝ如き豫言的な聲が天の一方から響き來つたが本年も餘す所僅に三月、果して妖魔の襲來を見るや否。外、國際間には何事か起らんととして起らず、廣田總理大臣が外務大臣たりとばかり感激したるの日は、われ外務に相たるの間は斷じて戰亂を生じせずと豪語した、國民の大多數は我意を得たるの日の、内、國內には隨分國民の心膺を寒からしめた事件一、一五事件、二、二六事件などが發生した、特に數日間ではあつたが行政機關の一部は殆んど其の機能を阻止せられ、事件の真相を知ることを得ざりし爲めに帝都の市民のみならず遠く海外に在る邦人すら至極の不安に襲はれた、然り而して廣田内閣の出現に依りて軍の秩序は回復せられ軍紀律は保持せられ聊か怒眉をひらくことを得、また容易に二、二六事件の如き國辱事件は發生せられざるべきを信ぜられた、されど對支問題、國防問題乃至國策問題に關して其の基本的觀念、意圖、及遂行に思及ぼすのとき、そゞろに危懼の發生を禁ずる能はざるものがある。惟ふに我日本の世相は不健康狀態に在るものにして思想の混亂、大衆生活の暗鬱、急進、漸進、革新、保守の對立的運動、政治意識の動搖等吾々を圍繞せる雰圍氣は歴史の末期のシャイネストツク型呼吸を發露せしめ、現

斯の如き世相を回轉せしめて或る方面で宣揚せらるゝ王道樂土とまでは行かずとも、せめては國民一般が深刻な不安と重壓とを感ずることなく、國民は爲政者の信用を得たりと確信し、爲政家は國民克く其の政治を認識するものなりと思惟するの情勢に導かれんことを切望せざるを得ない。或は高く或は低く展望の地點を異にするに従ひ其の觀相を變ずる櫻田門外に新裝を凝らして豪華なる姿を出現したる新帝國議事堂は十數年の長歲月と數千萬圓の巨資を費やして建造せられた、其の目的は代議政治有終の功を奏せしめんが爲めの本質形式の完備に外ならないと思はる、然るに近時政黨は自ら墓穴を掘つて其の勢力逐日萎縮し來つたので此白聖殿堂裡に於て世相一轉の大策が講ぜらるゝとは思惟し難いのである。而かも自由主義的政治もデモクラチツク政治も其の影次第にうすれ行きナチス運動やファツシヨ運動に依存するの力が増大し來つた、大衆運動を基礎とす得ない主義運動は獨裁理論指導者理論を持しつゝ獨裁すべき大衆、指導すべき大衆を獲得せざるを得ないファツシスト運動の爲めに制壓せらるゝの道を辿ることなるのが宇内の大勢ではなからうか、此大勢は漸く政治界からデモクラシーを經濟界から自由主義を排除し政治方面では一國一黨を實現して言論統制を完成し、經濟方面では自由主義を極度に縮少し、勞働の自由結成を制限して經濟統制化を強行するものと觀られる。

斯くて政治は寡頭專制に、經濟は獨占資本主義に導かるゝのではなからうか、若果して斯く結果づけられたらば夫に依つて民心の不安は一掃さるゝであらうか。宇内の大勢は博大なる愛を基調とする日本精神に順應するものと認識し得るや否、吾曹は切に祈る、達磨禪を知らず夫子字を知らずとの古諺を實にすることなきを。(桃民)